

- 1 開催日時 令和6年3月12日（火） 10:30～12:00
- 2 開催場所 大津市役所 別館2階 321会議室
- 3 出席者 委員 6名
(小寄委員、小出委員、金子委員、角間委員、服部委員、藤原委員)
事務局 4名
(田中市民部長、文化振興課：檜田課長、柵座主査、後藤主事)
傍聴 1名
- 4 内 容

1) 開会

- ・部長挨拶
- ・委員・事務局紹介
- ・会長、副会長選出（会長：小寄 善通氏、副会長：小出 和佳氏）
- ・会長挨拶

2) 議事

第3次大津市文化振興計画に基づく事業の進捗状況について

【第3次大津市文化振興計画に基づく事業の進捗状況について事務局から説明】

【質疑】

- 委員 指標として文化施設の総利用数があげられているが、一般市民の方は何事も無ければ、文化施設になかなか足を運ばない。文化施設の利用者を増やすためには、市民が気軽に足を運びやすくなるような催事を企画・実施する必要がある。文化施設での事業を増やしていくにあたり、大津市から文化活動団体への補助制度があると、利用者の増加や文化芸術の活性化につながるので、検討していただきたいと思う。
- 会長 文化施設に足を運んでいただくためにはコンテンツを充実させる必要がある。令和8年度の文化施設の総利用者数の目標値が25万人となっているが、これは新型コロナウイルス感染症流行前よりは多い数字か。
- 事務局 令和元年度以前に25万人を超えた実績があり、現状は新型コロナウイルス感

感染症流行前に何とか戻したいという考えから目標値を設定している。ただ、先程ご意見をいただいたように、ただ人が戻ってくるのを待つだけではなく、文化に関係の無い方々でも足を運んでいただきやすいような施設のあり方や事業内容について検討していく。

○委員 歴史文化を活用するのであれば、観光で訪れる人たちの存在を考慮しなければならぬと思う。利用者数を増やすのはなかなか難しいが、鑑賞者数を増やすことは可能である。また、SNS等の発信についても、関西万博や国スポ・障スポをきっかけとして、アンテナを張る必要がある。

○会長 SNSで発信するとしても、使用する媒体として何を選ぶかによっても効果が全然違うので、そのあたりもこれから意識していく必要があると思う。

○委員 先日、坂本城跡で発見された石垣について、現地説明会に市民だけではなく他府県から参加された方が多いと聞いた。他府県から転勤で来られた方が大津や滋賀県の歴史文化資源の多さに驚かれ、なぜもっと発信していかないのかという質問をよく受ける。自分たちは発信しているつもりでも、全然足りてないので、思っている以上の発信が必要である。大津市には他府県から移住された方が多く、大津のことを学んでいない方に改めて大津の文化を学べる場が必要であると思う。例えば、伝統文化親子教室にしても、大人の部があっても面白いと思った。話が変わるが、市主催事業ではない事業で、例えば日吉大社の写生大会などは長い歴史のある事業だが、年々出品者数が減っている状況である。しかし、それも大きな文化活動であり、そのような市主催ではない事業についても書初め展や美術展と一緒に募集をかけるなどすることによって、様々な興味がどんどん繋がっていき、文化芸術の活性化の手がかりになると思う。また話は変わるが、基本目標2の指標である人材育成関連研修会の参加人数だが、参加される方は割と固定されているのか、それとも新しい方が毎年どんどん参加されているのかが分かれば、広がっているのかが分かる。

○事務局 前向きに検討する。

○会長 施設の利用者数や出品数にしても、市主催・共催事業だけで増やそうとすると市の予算が増えない限り不可能ということになる。民間でされている活動などを表に出して発信して増やしていくことも一つのやり方であると思う。

○委員 市の施設以外にも、びわ湖ホールや県立美術館等、県の文化施設を訪れている

方が大津市には多くいると思う。指標の出し方として難しいかもしれないが、少なくともびわ湖ホールや県立美術館の利用者数は分かると思うので、それらも踏まえて総括した数字で計上するのも一つだと思う。また、先程の事務局からの説明で、文化振興課、文化財保護課、歴史博物館の3課が連携してウェブサイトを立てることを考えているとのことだが、どのように情報発信を行っていくとお考えか。

○事務局 文化情報集約サイトを3課協働で運営していくイメージである。コンテンツも文化振興課だけでは限界があり、ウェブサイトの中身の充実と更新頻度を高めていくため、3課で1つのサイトを協働で管理していくことを考えている。

○委員 情報収集やコンテンツの充実については外部に委託するのか。

○事務局 今のところ外部に委託することは考えていない。まずは内部でやってみて、充実が難しい場合は、外部の力を使いながら進めていくことも考えられる。

○委員 できれば、市の主催事業だけでなく、民間の事業でも掲載していただくとより良いものになると思う。

○事務局 了解した。

○委員 文化施設の総利用者数が指標としてあがっているが、大津市文化団体派遣事業などのように文化施設に足を運ぶのが億劫な人に対して働きかけることも大事だと思う。文化団体派遣事業については、指標として派遣の回数だけがカウントされているが、むしろ、参加してくれた人の総数をカウントした方が文化施設の利用者数との対比もしやすいと思う。

○事務局 了解した。

○会長 指標で既にクリアしている項目の令和8年度の目標値をどうするかと、基本目標2の指標「書初め展、子ども総合美術展、子ども展の出品数」に関して、「出品数」を「鑑賞者数」に置き代えるかの2点については、今ここで方針を出した方がよいか。

○事務局 お願いしたい。

○会長 数字をこの場を出すことは難しい。まず、基本目標2の指標「書初め展、子ども総合美術展、子ども展の出品数」について「出品数」を「鑑賞者数」に置き代えることはよろしいか。出品数を増やすには、実施回数や分野を増やす以外に方法は無いとお話であった。ご意見がある方はお願いしたい。

- 委員 鑑賞者数は施設の利用者数に含まれているのではないか。
- 事務局 そのとおりである。
- 委員 そこでカウントされているのであれば、単純に鑑賞者数にするのもいかがかと思う。出品数は置いておいて、併せて鑑賞者数も追いかけていくのが良いと思う。出品数という考え方にも意味があると思う。
- 会長 それでは、今の項目は「出品数」と「鑑賞者数」の両方を追いかけていくということで、他の指標についても「回数」と「人数」の観点からもう少し丁寧に数字を拾っていただく必要がある。
- 事務局 了解した。それでは、「実施回数」、「出品数」、「参加人数」、「鑑賞者数」といった数字も同時に拾いながら今後の進捗状況を見ていく。
- 会長 既に目標値を超えている項目についても協議したい。
- 委員 基本目標3の指標「市SNSを使って配信した文化芸術情報の発信回数」については大幅に超えており、歴史博物館を別にするのか、それとも入れるのか。
- 事務局 目標値の30回というのは文化振興課単独の目標値として持っておきたいと考えている。
- 委員 403回のうち文化振興課は何回というような書き方ではどうか。
- 会長 良いと思う。そのように見える化する必要がある。
- 事務局 了解した。
- 委員 歴史博物館は配信に尽力されているので、別枠でカウントする方が良いかもしれない。
- 会長 その方が良いだろう。
- 委員 そもそも、目標値30回は全然大した数字ではない。毎年実施する事業で必ず配信する事業を予め決めておき、フォーマットを用意しておけば難しくない。
- 会長 キーワード検索で引っ掛かりやすいものを配信する必要がある。若手の意見も取り入れて頑張っていたきたい。
- 事務局 了解した。
- 会長 本日いただいたご意見を取りまとめ、後日、事務局より議事録として送付していただきたいと思うが、よろしいか。
- 委員 異議なし。

3) 閉会